



津山市地域おこし協力隊〈農業分野〉

樫村 幸弘さん (堀坂)

鏡野町出身の47歳。津山市内の高校を卒業後、大阪の大学に進学し、民間企業に就職。Uターンを考えて参加した移住相談会で興味を持った津山市地域おこし協力隊に応募し、平成30年4月に就任した。農事組合法人アグリ堀坂で、農作業の支援や、後継者問題などの課題を解決するための活動を行っている。



ブロッコリーの品質を見定めながら収穫作業を進める樫村さん



トラクターで田んぼを耕す樫村さん



津山市地域おこし協力隊になろうと思ったきっかけは？

地元を離れ、大阪で就職しましたが、いつかは帰りたいと思っていました。参加した移住相談会の津山市の相談ブースで、地域おこし協力隊を募集していることを聞き、興味を持ちました。

今まで農業に携わったことはありませんでしたが、企業で経験した合理化や効率化の視点を生かし、儲かる農業の仕組みを作れるのではないかと思います。また、帰省するたびに、津山の街の雰囲気が寂しくなっているように感じ、活気を取り戻す応援がしたい気持ちが強くなり、応募しました。

どのような活動をしていますか？

農業の経験が無かったため、まず「習うより慣れろ」ということで、米や麦、野菜の作付けや収穫などの農作業の支援をしています。トラクターの操作など初めての作業に戸惑うこともあります。ベテランの皆さんに助けられています。

今後は、農産物を作るだけでなく、作業の効率化の研究や、加工品の開発など農産物に新しい価値を加えて販売する方法を勉強していきたいです。また、インターネットを活用した情報発信や新しい販路の開拓などにも取り組みたいです。

稼ぐ農業のモデルを作り実践することで、課題となっている後継者の確保や育成につながり、地域の元気を生み出すことができるのではないかと考えています。

津山の皆さんにメッセージを

皆さんの食を支える農業をもり立てるには、作る人だけでなく食べる人の存在も欠かせません。津山の美味しい農産物を途切れさせないように、できることを一緒に考え、農業で地域を元気にしていきましょう。



津山市川崎にできた新しい芸術文化の拠点「PORT ART & DESIGN 津山」に行きました。レンガ造りのオシャレな屋内空間に、芸術作家の作品が展示・販売されていて、時間を忘れて世界観を楽しむことができました。しかも、入館料無料で、多彩な展示会が開催されるので、今後も楽しみです。(W)

長い間目標だったフルマラソンに初挑戦！ 走れるんだろとかと不安は募るばかり。やっぱり止めようかと直前まで悩みましたが、覚悟を決めてスタート。きれいな景色と沿道の人の温かい応援に助けられ、何とか無事に走り抜きました。ゴール後、肩にタオルを掛けてもらった時の感動は忘れられません。(C)

昔の津山の写真を調べていると、時代と共に移り変わっていく風景や町並みにびっくりしました。昭和4年に撮影された神南備山から一望する風景の写真を見た時、昔と今の比較を掲載したいと考え、撮影場所を探しました。やっと同じような写真が撮れた瞬間「撮ったぞー」と思わず叫んでしまいました。(S)

編集・発行
津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階)
〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

☎ 0868-32-2029
☎ 0868-32-2152
✉ kouhou@city.tsuyama.lg.jp

広報津山は、環境保護のため再生紙と植物性インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(資源)にご協力ください。

☆広報津山はホームページで閲覧できます
<https://www.city.tsuyama.lg.jp/>



☆津山のエンタメ情報はこちら
<https://www.facebook.com/city.tsuyamakouhou/>

